
ダルマたんが、ころんだ

赤釘春流

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ダルマたんが、こーろんだ

【Nコード】

N7759J

【作者名】

赤釘春流

【あらすじ】

その少女は幸福だった。その飛行機事故が起こるまでは。彼女は、その飛行機事故で四肢を失ってしまう。そして、少女を引き取る者は誰も居なかった。少女は、その日の食事を得る為に『見世物』となる事を選びます。四肢が無い彼女は『ダルマたん』と呼ばれるようになります。そんなお話です。

ある所に、一人の少女が居ました。

その少女は、幸福でした。 厳しく、男らしい父親と優しく美人の母親、そしてその少女の合わせて3人家族。 その家庭は愛に満ちておりました。 少女は幸せでした。

だが、その生活は長く続きませんでした。 彼女が6歳の時です。 彼女と、その家族が乗っていた飛行機がハイジャックに乗っ取られて墜落しました。 飛行機事故が起こったのです。

母親と父親は死にました。 だが、彼女は生き残りました。 その代わりの代償として、彼女は四肢。 つまり、両手と両足を失いました。 彼女を引き取る者は誰も居ませんでした。 彼女に親戚は居なかったのです。

両手両足が無い少女が、その日の食事代を稼ぐ為に出来る事と言ったら『見世物になる』と言う事しかありませんでした。

両手両足無い彼女は『ダルマたん』と言う名前で見世物となり、蔑み、笑われました。 その代償として、硬いパンと冷たいシチュウーによろやくありつけられる程度でした。

だーるまたんが、こーろんだ。

だーるまたんが、こーろんだ。

だーるまたんが、こーろんだ。

彼女は、10歳になろうとしていました。 そんな彼女を引き取るうとする人が現れました。 その人は、昔彼女の父親にお世話になった事のある人でした。

老齡の紳士です。 紳士は、少女を怖がらせないようにと思い、精一杯の笑顔で近寄りました。

「こんにちは、私が今日から君の父親になる者だ」

少女は、目から血の涙を流しました。そして、その後ユツク
リと首を振りました。

「どうしてだね？ 何で首を振るんだ？」

少女は、何も答えませんでした。その代わりに、歌を歌いまし
た。

だーるまたんが、こーろんだ。

だーるまたんが、こーろんだ。

だーるまたんが、こーろんだ。

そして、床を転がり始めました。悲しげにその歌を歌いながら。

END

(後書き)

こんにちは、作者の春流です。

長編のパニック・ノートの方も執筆しているので、宜しく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7759j/>

ダルマたんが、こーろんだ

2010年10月11日11時06分発行